

教育現場における多文化共生の今

弓削恵理子・アンドレア・カールソン

2019年10月25日（木）に、愛知県立大学生涯発達研究所主催、連続セミナー「多文化社会における多職種連携—教育と福祉の現場から」の第2回「教育現場における多文化共生の今」が、愛知県立大学地域連携事業の一環として開かれた。その内容を以下に掲載する。

〈報告者〉

弓削恵理子（瀬戸市教育委員会）

アンドレア・カールソン（愛知県立大学外国語学部）

1. 「学校における日本語指導の必要な子どもとその家庭への支援について」

弓削恵理子

瀬戸市はこの大学からほんの5分ほどのところにあります。9月にせともの祭りが開催され、20万人ほどの人出がありました。最近では、将棋の「藤井聡太」くんが瀬戸の有名人です。瀬戸市は名古屋からほど近くトヨタ自動車の本社がある豊田市に隣接しています。瀬戸にもトヨタ関連の会社に勤める外国人がたくさん在住し、瀬戸市の学校にそのお子さんたちが通うということになります。

みなさんをご存知の通り、入管法が平成30年12月に改正され、ますます外国籍の児童生徒が増えると予測されています。

(1) 愛知県の外国籍児童生徒の現状

愛知県は、全国でも一番外国籍の児童生徒が多く在籍し、その数はH28調査では7000人を超えています。H30年の調査では9100人を超える外国籍の児童生徒が在籍をしています。たった2年間で2000人も増えたことになります。日本語指

導が必要な児童生徒の数も10年間で1.7倍になっています。

瀬戸市でも、今までは限られた地域に外国人のコミュニティがありましたが、最近は外国籍の児童生徒の分散化が進み、様々な学校においてその姿が見られるようになってきました。外国籍の児童生徒の数も日本語指導が必要な児童生徒の数もどんどん増えています。

最近ますます、日本語教育の重要性について話題に上がるようになってきました。日本語指導が必要な児童生徒のうち、特別な指導を受けている割合は年々増加し、7~8割の子が指導を受けていることになっています。

菟山小学校の平成30年度の1年生の入学者数は10人でした。そのうち、外国籍の児童生徒は9人です。ちなみに今年の本山中学校の外国籍の生徒の人数は3人中2人です。

(2) 日本語教育の実際

①日本語教室

学校で一人だけの外国籍の児童生徒がいる場合、子どもにとってその状況はとても心細いものになります。どんなに指導しても、肌の色・目の

色・顔立ちの違いなどの様々な理由で学校になじめない子もいます。また、教員側にとっても、他の児童生徒がいる中で日本語がなかなか話せない子がいても、どの様に指導をしていいか困ってしまうことが多々ありました。

現在、瀬戸市の日本語指導が必要な児童生徒在籍校は28校中18校です。全部で300人(10000人の中の)ほどの外国人児童生徒のうち3分の2が日本語教育を必要としています(図1)。その中

でも日本語教室がある学校は6校にとどまり、十分な日本語教育を受けることができてはいません。

外国籍の児童生徒が教室で授業を受けられるようにすることも大切な日本語教室の役割です。

日本語教育の必要な外国人の児童生徒は、「特別の教育課程」を個々に編成し、個別の指導計画に沿って授業を実施しています。

各校の日本語教室では子どもたちのレベルに合わせて、様々な形態で授業を行います(図2)。

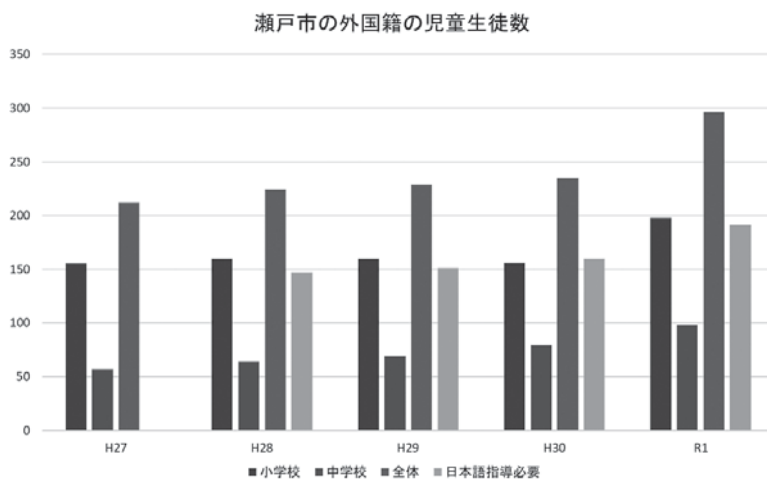


図1

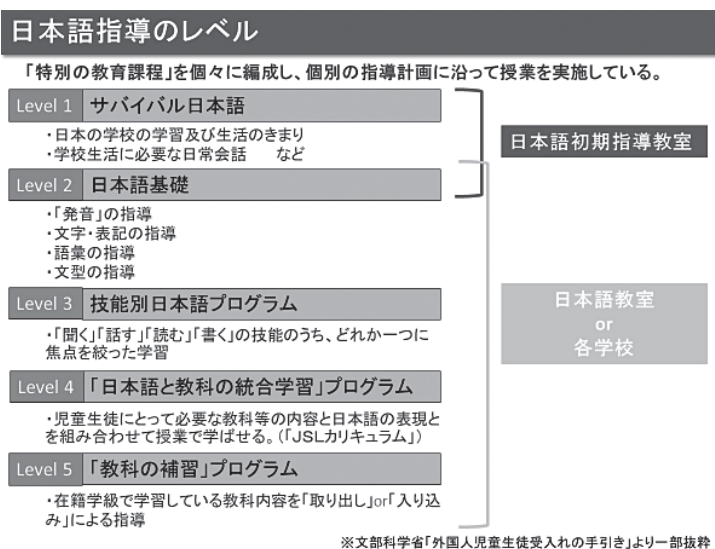


図2

瀬戸市ではレベル1・2は初期指導教室で、レベル3以降は各学校で指導をすることになっています。レベル4では日本語と教科の統合学習の中で、子どもたちの理解を深めています。教室で受ける教科指導よりも、子どもたちの理解を深めることができる指導です。

②日本語初期指導教室

日本語が全く分からない児童生徒に対しては3週間から2か月程度市内2か所にある日本語初期指導教室で学んでから、各学校へ戻るシステムを取っています。その後、各校で指導計画に沿って、指導を行っていますが、日本語未設置校においては、十分な指導を受けることができていません。

外国籍の児童生徒はみな同じように日本語が話せないわけでもなく、児童生徒の個々の状況によってそれぞれに合った学習の支援や指導が必要となります。そのために、立てられている個別の指導計画の中で指導方法を決定しています。

瀬戸市で行われている日本語初期指導教室は、平成27年度に原山小学校と下品野小学校に開設されました。3週間から2か月程度、市内2か所の学校に午前中通って日本語の文化や簡単な日本語を学ぶところです。

小学校入学前の子どもたちを対象にプレスクールも行います。各学校の日本語教室は外国人の子どもたちを一週間に1から6時間ほど取り出してその子に合った内容の授業をします。目標は教室でみんなと同じように授業を受けることができるようにすること。でも、これがとても難しいです。この学校では、カードを使って足し算や引き算の学習をしています。プリントでも行いますが、カードを使ってやると子どもたちも意欲的に取り組み、瞬時の判断も必要になってくるので効果的に学習をすることができます。また、教室には個人の紹介カードが掲示され、これを作成する過程でも学びが活かされています。

この学校では、国語の教科書を何度も読む練習を行っています。個別に対応することができるため、教室に戻ってからもスムーズに授業を受ける

ことができます。また、別の学校でも4名の児童と一緒に学習を行っています。別々の課題で学習をしたり、一緒に問題に取り組んだりして、日本語や教科の学習を行います。

(3) 保護者への支援

日本語がペラペラで、日常生活に困っていない子どもの中には学習に使われる言葉が得意ではない子どももいます。小さい頃から母語を習得できるようにお家の人は母語を話してくださいという支援をしています。

お家の人は日本語が苦手な人もたくさんいます。でも子どもたちに何とかしてあげようとして、色々考えますが、日本語は教えられません。そんなとき、周りから母語をたくさん話して、語彙力を増やすといいよと伝えてあげてください。母語の力がつけば母語で抽象的な概念を身に付けることができます。

母語も日本語も中途半端だとダブルリミテッドといってどちらも身に付かず、親ともコミュニケーションが取れないという困った状態になります。

保護者への支援は、語学相談員を交えて個人懇談を行ったり、お便りや文書を母語に直したり、入学説明会や進路説明会などで通訳をしたりしています。しかし、この支援は外国籍の児童生徒が多い学校に限られています。最近では、外国人児童生徒の散在化が進み、学校中で1人だけ外国籍の児童という子が増えてきています。

(4) 遠隔システムによる日本語指導

①遠隔システムについて

瀬戸市では遠隔システムを使って日本語教室のある学校とない学校をつないで授業を行います。瀬戸市では28校中18校に外国籍の児童が在籍していますが、そのうち6校しか日本語学級が設置されていません。1校で10名以上在籍していなければならない、さらに予算があればという限られた中で日本語教員が加配され、日本語教室が設置されます。

日本語教室が学校があれば、そこで個別の指導計画に沿って、取り出し時授業を受けることができますが、学校で1人の外国籍児童となるとなかなかその対応までしっかりとできないのが実情です。下学年の漢字のプリントなどを渡して、これやってね、と指示をして他の児童の授業に戻るということも少なくないと思います。

遠隔システムで日本語教室の未設置校と設置校をつなぎ授業を行うことで、児童生徒の個別のレベルに合わせ、授業を行うことができます。

平成30年度は、小学校5校中学校2校に遠隔システムを導入し、令和元年度は小学校5校中学校2校に導入しました(図3)。日本語教育の対象校としては、学校でモデル事業として取り組み、各校に広げていく予定です。機器については、コンセントを差し込むだけで準備が完了する簡単なシステムを採用し、準備にかかる負担ができるだけないようにしています。学校によっては、月に1から2回のところがあれば、週に2回ほど遠隔の授業を行う学校もあります。

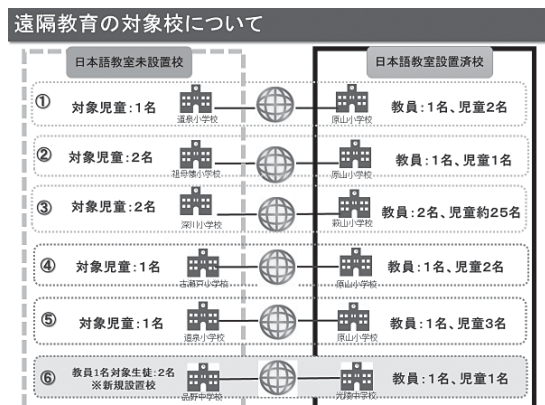


図3

②遠隔授業における指導の実際

Aの児童は、学校で1人だけ外国籍です。今まで、日本語レベルが比較的高く、コミュニケーションも取れていると思われていたため、クラスの中で授業を受けていましたが、授業内容の理解は不十分でした。

遠隔システムを導入するのをきっかけに、日本語の勉強を始めると、語彙も増え、日本語の授業にも積極的に参加をするようになりました。授業は「日本語と教科の統合学習」で、国語の内容を主に行いました。教科書の中の漢字や語彙を学習するときにも、丁寧にその意味や日本の文化について説明することにより、児童の理解が深まりました。例えば教室で学んでいる「慣用句」についてですが、先に「ひじ」「かかと」などからだの部位について学んだあとに、からだについての慣用句「ほったたが落ちる」などの慣用句を学習しました。一緒に学ぶ相手校の児童と問題を出し合ったりしながら楽しく学習をする様子が見られました。

Bの児童は、自分の学年程度の学習が習得できていなくて、クラスでもどのように指導していいか困っていました。プリントを与えて、やっていてねと伝えても、なかなか思うようにはできません。

「日本語基礎」として同じような学習を行う相手校の児童とつなぎました。その子に合ったレベルの文章の読み書きや漢字の練習を行うことができるため、無理なく学習に取り組むことができました。授業内容が理解できないため、教室では授業内容に飽きる姿が見られましたが、日本語教室だと理解ができるまで、ヒントをもらったり、友達の意見を聞いたりしながら学習に取り組むため、45分の授業も飽きることなく学習に取り組んでいました。

受信校の学校は、全校児童が45名の小規模校で、外国籍の児童も2名しか在籍していません。クラスは少人数のため、個別に支援は受けることができますが、多くの人の中で発表する機会も少ないです。そこで、発信側の全外国籍児童が集まる時間に接続を行いました。

季節によって日本の文化や行事を学ぶ中で、日本で過ごすためのルールや語彙を増やしていきけるような授業を行っています。9月は「防災」がテーマでした。「避難」「訓練」などの言葉や、地震や火事の時にどのように避難するかを学びました。

そのほか、「お月見」などの日本の風習についても学んでいます。

ある授業では「日本語と教科の統合学習」で、国語の授業を行っています。国語の教科書の教材である「和語・漢語・外来語」についてクイズを交えながらお互いに交流し、理解を深めていました。授業の前には、お互いに相手校の子の母語で話をして夏休みの思い出を母語で伝え合う姿が見られました。この中の一人の子は遠隔システムがとても気に入っていて、普段はよく遅刻や欠席をするのですが、遠隔の授業の時には早く来るなど興味関心を持って行っています。

中学校の接続は、始まったばかりのため、まだ子どもたちの表情は硬いのですが、中学1年生同士を接続した授業では、国語の教科書のリライト教材を使って授業を行いました。中学生になると国語の内容も難しく、漢字もたくさん出てきます。教材の「おとなになれなかった弟たちに」は戦争の教材で、絵や写真を取り入れながら「爆撃」などの言葉や漢字を学んだり、太平洋戦争の背景を学んだりして理解を深めました。また、教師の出す問題にお互いに教えあって答えながら、学習を進めていました。

他校とつなぐことにより、児童生徒に与える影響としては、同じ言語を母語とする児童と交流することによって、「今のままの自分でいいんだという」自己のアイデンティティを確立させ、自己

肯定感を高めることができると思われます。また、通常の学級よりも個々の児童生徒に応じたより丁寧な指導を行うことができ、学力の向上が見込まれます。遠隔システムで授業をすることにより、相手に伝える機会が増え「話す」技能が向上すると予想されています。

遠隔授業を行うために、瀬戸市として指導体制を図4のようにとしています。実証研究委員会の助言を受けたり、企業からサポートを受けたりしながら、授業を行っています。

③遠隔における ICT 環境について

ICT 環境については、いくつか大事な点があります。機器につきましては、準備に手間がかからないこと、資料共有機能があること、画面のレイアウト変更ができることも授業者にとっては、効果的な授業を行うために大切な事柄になります。

「準備に手間がかからないこと」については、コンセントを差し込むだけで、1分ほどで接続が可能になります。機械が立ち上がった後は、短縮ダイヤルで相手校とつなぐことができます。携帯電話より簡単な操作でつなぐことができます。機器の接続が簡単であれば、使用頻度も高くなり、教師の負担もありません。

「音声の遅延がなく授業を実施できること」も大切な要素です。それほど頻度は高くありませんが、万が一映像に乱れが起きた場合にも音声クリアであれば授業を継続することができます。事前に受信側の教員やサポーターが授業内容を把握して、相手校の教員の指示により臨機応変に対応をしています。

「資料共有機能があること」については、実物投影機を接続し、パソコン画面だけでなくその時間に書いたプリント等も共有できたり作図をしている手元を見たりすることができます。「カメラやマイクについても大切な要素はあります」が画面のレイアウトが変更できることはより授業を行う上で大切な要素になってきます。時には、パソコン画面を最大化したり、相手と自分の画面を両方映したり、ノートと先生の顔を同時に映したり

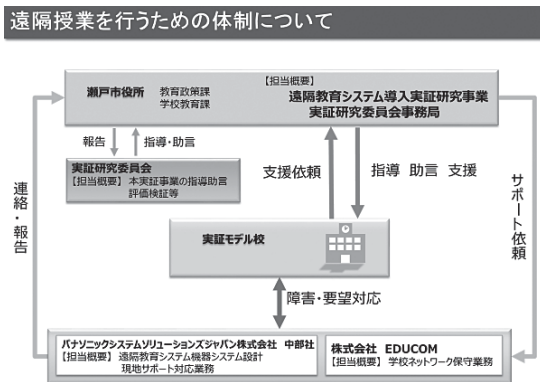


図 4

と、授業の活動内容に合わせて画面のレイアウトを様々な画面にできることは、学習内容を最大限に生かす効果があります。

④効果の検証

遠隔教育を活用した日本語指導につきましては、市内における日本語教育の機会均等化対象児童生徒の日本語レベルの向上や自己肯定感を高めることを目的としています。

効果測定方法は外国人児童生徒のためにJSL対話型アセスメントDLAによる日本語能力の測定と、児童や担当教員へのヒアリングや児童の観察で行います(図5)。日本語力はこの遠隔システムを利用した日本語教育のみで定着するものでもなく、本実証で日本語力が伸びたかどうかを図ることは難しいのですが、個々の状況に応じて指導ができたため、子どもたちが変化した姿を見ることができました。

効果・検証

DLA語彙チェックの結果の向上

児童名	事前テスト結果	事後テスト結果
A	83%	98%
B	78%	89%
C	96%	98%
D	60%	74%
E	78%	転出のため実施できず

ヒアリング・観察結果

- 「話す」技術の向上** 相手に「伝える」という機会が増えるため、「～だと思えます」「終わりました」など聞きや目線以外で自分の意思を伝える場面が増えた。様々な意見に触れることで、発音の違いで意味が異なることや、同じ読み方でも、漢字によって意味が異なることに気づくことができた。
- 学びの広がりを** 児童の意見を引き出すことができるような授業展開を考えるようになった。また本事業をきっかけとし、教員のICT活用頻度が増加し、適切にICT機器を活用できるようになった。
- 教員の意識の浸透** 児童の意見を引き出すことができるような授業展開を考えるようになった。また本事業をきっかけとし、教員のICT活用頻度が増加し、適切にICT機器を活用できるようになった。
- 児童の登校意欲向上** 普段遅刻の多い児童であったが、遠隔教育システムの授業を楽しみし、遅刻せず登校する姿が見られた。

図5

DLAの語彙チェックも事後には伸びが見られ、(これは、遠隔だけの成果ではありませんが)、子どもたちも遠隔の授業を楽しみにしている様子が見られました。特に小学生の児童はお互いに伝えあおうとする気持ちが高く、普段はクラスの中で発言することがない児童も、相手に向かって話をする姿が多くみられるようになりました。

また、同じ学年でも文字や語句の理解度は児童によって大きく異なり、個人の能力によって習熟

できるまで繰り返し学習できる環境は、子どもたちにとって大切な時間になっています。接続することで、自分の学校にはいない同じ母語の子と、母語で話をする機会もあり、子どもの顔に笑顔が見られました。児童・生徒からも「個別で学習できるので、勉強がよく分かった」「自分の意見以外に触れることができたので、いろいろな考えを知ることができた。」などの声が聴かれました。

また、「映像も音声も普段と変わらないスピードで授業を進めることができる。違う学校の児童と一緒に勉強することで良い緊張感が生まれる。」「授業の準備に時間がかからない。相手校に自分の意見を正確に伝えたいという意識が生まれ、日本語の力が伸びた。」という教師の声もあがりました。

(5) その他の遠隔システムの活用

今年度8月に4校を接続した進路ガイダンスを行いました。外国籍の児童生徒とその保護者を対象にしたものです。県の語学相談員を派遣してもらい、それぞれの母国語で説明を聞いたり、質問をしたりしました。特に、日本の高校のシステムと、かかる費用については、あまり知識がない保護者も多いため、有意義な時間になりました。また、他の学校に来ている語学相談員と遠隔でつなぎ、担当教員と打ち合わせをしたり、今後は遠隔で保護者との懇談を行ったりする予定もあります。

また、教員研修にも活用し、教員の多忙化解消への一助になりうるということがわかりました。

おわりに

今後は、瀬戸市全校で遠隔システムを導入し、日本語教育が必要な児童生徒が、安心して個別の支援を受けることができるような、システムを構築していきたいと考えます。また、今後日本語教室を設置する学校のためにも日本語教育のノウハウを、遠隔教育システムを使って高めていきたいと思っています。

また、遠隔教育だけでなく、増えてくる外国籍の子どもたちへの日本語教育を充実したものにしていかなければなりません。そのために、ここに対応した日本語教育はもちろんのこと、日本人の児童生徒を含めた「多文化共生教育」も充実させなければなりません。これからも、子どもたちの家庭や保護者も含めた支援を模索して日本で生きていくために力を合わせていきたいです。全ての子どもたちが幸せでありますように。

2. 「LGBTQIAの生徒のためのインクルーシブな学校づくり」

アンドレア・カールソン

Good afternoon.

カールソン（通訳） 皆さん、こんにちは。

My name is Andrea Carlson, and I would like to say a very warm thank you to all of you for coming on this very rainy day, and also a very warm thank you to Sumire Kanda-san for her interpreting. Because Sumire-san is going to interpret, it means that we don't need to listen to my terrible Japanese.

カールソン（通訳） 私の名前はカールソン・アンドレアです。本日このようなお足元の悪い中、雨の日にお越しくださしまして本当にありがとうございます。そして本日の通訳をしてくださる神田すみれさんに感謝を述べたいと思います。私の拙い日本語ではなく、すみれさんの通訳でお聞きいただけます。

I would like to talk today about creating inclusive schools for LGBTQ+ students.

カールソン（通訳） 本日、私が話をするのは、LGBTQ+の生徒のためのインクルーシブな学校づくりについてです。

My research area is mental health support for multicultural and LGBTQ+ children and young

people, and my background is in social psychology. But part of my interest in this area and part of my interest in inclusion in schools for LGBTQ+ students comes from my own family.

カールソン（通訳） 私の研究について少し紹介をしたいと思います。私の研究の中心はメンタルヘルスです。特にLGBTQ+や子ども、若者のメンタルヘルスについて研究をしています。私の専門は社会心理学ですが、私がこの分野とLGBTQ+の生徒の学校への包摂に興味をもったのは、私自身の家族によるものです。

Today, I would like to talk about some issues related to inclusion by telling you the story of my own family.

カールソン（通訳） 本日は私の家族について、この包摂というトピックでお話をさせていただきます。

Our oldest daughter is 28 years old and she is male to female transgender, meaning that her assigned gender at birth was male and her identity is female. She is a graduate student now in the United States.

カールソン（通訳） 私たちの長女は28歳で、男性から女性へのトランスジェンダーです。つまり、生まれたときに割り当てられた性別は男性であり、彼女のアイデンティティは女性です。彼女は現在、米国の大学院生です。

And when I talk about my oldest daughter - her name is Umi - when I talk about Umi, I always refer to her as 'her.' Even when I think about her as a baby - even though when she was a baby, we thought she was a boy, but now I think about her as 'her,' I talk about her as 'her,' so it might be a little bit confusing, but our belief, my family's belief is, she has always been a girl, we just didn't know that she was a girl.

カールソン（通訳） 私が長女（彼女の名前は海です。）について話すとき、私は彼女を常に「彼女」と呼びます。生まれた時に彼女は男の子でしたが、今は彼女を「彼女」と考えています。私は彼女を「彼

女」と呼んでいますので、皆さん少し混乱するかもしれませんが。生まれた時から女の子だったのに、私たち家族は彼女が女の子であることを知りませんでした。

Umi came out to us four years ago, and that was the proudest and happiest day of my life.

カールソン (通訳) 私の娘、海は4年前にカミングアウトしました。そしてその出来事は私にとってとても素晴らしく、とても誇らしく、幸せな出来事でした。

Because of my family's experience, I know very, very well that diversity is wonderful, and diversity is beautiful, but that, as a society, our society is not yet completely accepting and understanding of people with diverse backgrounds.

カールソン (通訳) 私たちの家族の経験から、多様性は美しいことであり、とても素晴らしいことであると私は思っています。けれども、社会全体がそうであるかというところではありません。私たちが信じるこの多様性の美しさは受け入れられて理解されているかというところ、決してそうではないのです。

And, of course, this lack of acceptance, this lack of understanding then contributes significantly to marginalizing behaviors such as bullying, stigmatization, harassment, abuse, which then in turn significantly contribute to stressors, which create of course challenges to our mental and physical health.

カールソン (通訳) このような社会の理解や受け入れや包摂が欠如しているということから、いじめや差別、嫌がらせが頻発しています。そしてそれが原因で負のメンタルヘルスという結果が生まれています。

Research by Dentsu Diversity Lab has found that almost 9% of our population do identify as being in the LGBTQ+ community.

カールソン (通訳) 電通ダイバシティ・ラボの調査によると私たちの社会の中で9%の人たちがLGBTQ+であるとわかりました。

And, especially when we think about young people, young people are the most burdened by marginalizing behavior in terms of mental health outcomes. If we look at this slide, we can see that, among the LGBTQ+ youth, there are two to four more times the number of suicide attempts and deaths by suicide than among their peers who are non-LGBTQ+.

カールソン (通訳) ここで特に申し上げたいのは、若者は特に排除されやすい状態にあるということです。といいますのは、このスライドで示す研究結果から若者の中でLGBTQ+の人たちは、他の人に比べ2倍から4倍の自殺未遂および自殺が認められているのです。

And again, external factors - this is not related to the status of being LGBTQ+, this is because of us, this is because of society, this is because of external factors, and the stressors that result from discrimination and bullying and stigmatization.

カールソン (通訳) 繰り返しになりますが、外部要因—これはLGBTQ+のステータスとは関係ありません—これは、私たち、社会、外部要因、および差別といじめやスティグマに起因するストレスナーなのです。

The strongest protective factor for children and young people in the LGBTQ+ community is parental and family support.

カールソン (通訳) 子どもたちにとって最も重要なのは、親から、自分の状態を受け入れてもらっているかどうかということです。

And, for young people in the LGBTQ+ community, the second strongest factor is having a strong and positive relationship with their school.

カールソン (通訳) 若者とLGBTQ+の人たち

にとって、親からの受容の次に大切なのはつながりです。

And this is a serious issue because parents, teachers, school administrators, mental health specialists, doctors, we don't know what we need to know to support our LGBTQ+ children and students.

カールソン (通訳) 私たちはこのことについて真剣に向き合わなければなりません。といいますのは、学校の教員や医者やメンタルヘルスの専門家ですら、このような課題に対してどのように向き合うかについて分かっていないからです。

In a national survey from the United States, in graduate school training for SMHP - SMHP stands for *School Mental Health Professionals*. We can see on this slide that 70% of mental health specialists in schools have not or did not have training in their graduate program regarding support for LGB students, so, lesbian, gay and bisexual students. 81% of mental health professionals in schools did not have training in graduate school to support transgender students.

カールソン (通訳) 米国の全国調査では、SMHPの大学院トレーニングで、SMHPは「精神保健専門学校」の略ですが、このスライドでは、学校のメンタルヘルスの専門家の70%が、LGB学生、つまりレズビアン、ゲイ、バイセクシュアル学生のサポートに関する大学院プログラムのトレーニングを受けていない、または受けていないことがわかります。学校のメンタルヘルス専門家の81%は、トランスジェンダーの学生をサポートするために大学院でトレーニングを受けていません。

And we can see here, 37% of mental health specialists in schools, in their career life, have not had any training related to LGBTQ+ students.

カールソン (通訳) そして今現在、学校で専門家として仕事をしている人の中で、37%しか、キャリアの中でそのような研修を受けたことがある人

がいませんでした。

And this is significant because we know that approximately 9 percent of students are going to be a member of the LGBTQ+ plus community, and we know very well that in terms of mental health, LGBTQ+ students do face significant challenges due to discrimination.

カールソン (通訳) そして、これは大きな問題です。9%の生徒がLGBTQ+であるということが既に分かっている、LGBTQ+の若者たちがメンタルヘルスに影響を受けるということが分かっているにもかかわらず、現在このような状況であるということです。

In Japan, it's the same situation. A recent study shows that only 14.3% of Japanese school mental health specialists have did have training in supporting LGBTQ+ students in graduate school.

カールソン (通訳) 日本でも同じ状況です。最近の研究によると、日本の学校のメンタルヘルスの専門家のうち、大学院でLGBTQ+の学生をサポートするためのトレーニングを受けている人はたった14.3%です。

And the barriers to inclusion are the same as the barriers to mental health support. Stigma is a huge problem. Lack of easily accessible information is a huge problem, and especially for the multicultural community, that's a huge problem. Lack of diversity, awareness in schools and the community, lack of mental health literacy in the schools and community, and lack of diversity-sensitive mental health support.

カールソン (通訳) これらの人たちを包摂するサポートに壁があるのはアメリカと同じです。差別であったり、情報の入手ができなかったり、多様性の欠如、メンタルヘルスに関する知識の欠如、そしてそのサポートの欠如があるといえます。

And, I'd like to relate some of these issues to

the experience that I've had as a mother with my wonderful daughter, Umi. I am really *oyabaka*, so I am very happy to have a chance to talk about my daughter.

カールソン (通訳) ここから、私自身の経験と関連づけて話を進めたいと思います。私の娘、海についてです。私は本当に親ばかなので、彼女の話をしてください。

So, if we think about SOGI - 'SOGI' is a term that's being used more and more often these days. The 'SO' is 'SOGI' refers to Sexual Orientation. In Umi's case, she is not lesbian, she is not gay, she is not bisexual, she is pansexual. This means that she is romantically interested in people across the gender spectrum, from people who identify strongly as male, to people more in the middle of the spectrum, who might be X-gender or non-binary, and then people who identify strongly as female.

カールソン (通訳) SOGIについて考えると、「SOGI」は、最近よく使用されている用語です。「SO」や「SOGI」は性的指向を指します。海の場合はレズビアンではなく、ゲイでもなく、バイセクシュアルでもなく、パンセクシャルです。これは、男性として強く特定する人々から、X性別または非バイナリである可能性のあるスペクトルの中間の人々、さらには女性という意味です。そして、この SOGI というタームですが、私の娘、海はこの中でもパンセクシュアルに当たります。パンセクシュアルというのはゲイでもレズビアンでもなく、性を越えて、男性・女性・中性的な人・全ての人とロマンティックな関係性を持つということです。

In terms of her gender identity, her gender identity is male-to-female transgender woman. So, she is a transgender woman.

カールソン (通訳) そして彼女の性的なアイデンティティは男性から女性へ変換しています。海は女性のアイデンティティを持っているというこ

とです。

My children were born in Japan. When they were two and six years old, we moved to England because of my husband's job.

カールソン (通訳) 私の子どもたちは2人とも日本で生まれました。そして、一人が2歳、もう一人が6歳のときに、夫の仕事の関係でイギリスに引っ越しました。

And because we believe strongly that Umi has always been a girl but we didn't know this, I put a question mark on this image on the slide to just indicate that at that time she was identifying as a boy outwardly. Her figure looks like a girl because we believe she was a girl, but outwardly, she wasn't out and we did not know that she was a girl.

カールソン (通訳) 今は、私たちは海が女の子であることを強く信じていますが、かつてはそれを知らなかったのので、スライドのこの画像に疑問符を付けて、その時に彼女が外見的に男の子であることを示しました。私たちは彼女が女の子だと信じているので、彼女の姿は女の子のように見えます。

We lived in England for almost nine years, and our children grew up there. We lived here in this beautiful, beautiful village in the English countryside.

カールソン (通訳) 私たちはイギリスに9年間住んでいました。9年の間に子どもたちは成長していきました。この写真にあるように、イギリスの美しい田舎の村で暮らしていました。

And there was a lovely elementary school in the village that our children attended. It was inclusive, it was ethnically diverse, it was supportive, and both of our children had a really wonderful experience there.

カールソン (通訳) このすてきな村、町の小学校に子どもたちは通っていたのですが、この学校がとても素晴らしくインクルーシブで、全ての民

族を受け入れるという素晴らしい学校でした。

And when Umi graduated from elementary school, she told me she would have a good life because she went to this school.

カールソン (通訳) そして、海がこの小学校を卒業したとき、彼女はこう言いました。「私はこの学校を卒業することができたので、素晴らしい人生を送ることができるだろう」と。

And after she graduated, she went to an all-boys school. And the school was primarily white, it wasn't ethnically diverse. It was big, it was not supportive, and it was not inclusive.

カールソン (通訳) 卒業後に、彼女は男子校に進学をしました。その学校は全く多様ではありませんでした。ほとんど白人の学生、生徒で、多様性はなく、大きな学校でしたが、包摂的ではありませんでした。

And, previous to this, Umi had always been the happiest person in the room. If she were in this room, she would be the happiest person. But when she changed to the all-boys school, she disappeared. She became depressed and psychologically distressed and she lost her happiness.

カールソン (通訳) 進学する前は、海はいつも一番幸せな人でした。彼女が部屋にいた場合、彼女はその中で最も幸せな人になります。しかし、彼女が男子校に進学したとき、彼女は姿を消しました。彼女は心理的に落ち込んで苦しみ、幸福を失いました。

And I think perhaps, though she was considering her gender identity and she knew that she was diverse in terms of her gender identity as an elementary school student, because her school was so accepting it was never a problem for her. But then when she had to go to an all-boys school, of course, it really did become a serious issue for her.

カールソン (通訳) なぜ彼女が小学校でとても幸せな状態でいられたかということ、彼女自身は彼女の性的アイデンティティについて分かってはいたと思うのですが、その学校が多様性を受け入れる状態にあったからです。だから彼女はずっと幸せでいることができたのです。しかし、進学した男子校がそのような多様性を受け入れるという環境になかったために、彼女の幸せはどこかに行ってしまったと考えます。

And please don't think that we are horrible parents; we didn't know at that time that she is a girl.

カールソン (通訳) 私たちのことをとても悪い両親だと思わないでください。私たちはそのとき知らなかったのです。

When Umi was 15, we came back to Japan because of my husband's work, and I think partly because of cultural identity confusion, and also because of a growing confusion inside of her about her sexual orientation and her gender identity, she really gradually came to be in a state of very serious psychological crisis. I don't have words to tell you how alone she was, and I don't have words to tell you as a parent how deeply I worried about her.

カールソン (通訳) 海が15歳のときに、私たち一家は夫の仕事の関係で日本に戻ってきました。彼女が経験した文化的なアイデンティティの混乱、そして成長の過程で彼女自身の中に起こった混乱、そして性的なアイデンティティの混乱、その全てが一度に起こったのだと思います。彼女がどのような精神的な状態であったかを言葉で表現することができないほど、彼女は一人ぼっち、孤独になってしまっていました。そして毎日、毎日、私たちは彼女のことを心配しました。

But we, as parents, and also her school, we didn't know what to do. There was no literacy about LGBTQ + youth and mental health literacy also was lacking.

カールソン (通訳) そして、親としても、学校

側も、この状況に対してどう対応していいかわかりませんでした。LGBTQ+に対しての情報、そしてメンタルヘルスに対する情報もなかったのです。

Four years ago, after Umi graduated from university, she came out to us, as I told you, and that was the happiest day of my life. And, as I told you, that was the proudest day of my life.

カールソン (通訳) そして4年前、先ほど申し上げたように、海は大学を卒業したときに私のところへ来てカミングアウトをしました。それは私の中でとても誇りに思う出来事でした。

And although I was so happy that she had come out as transgender, and I was excited to know her as a woman, I had questions because everything was new to me. So, of course, I needed information, I needed peer support, and I also needed to become knowledgeable about how we, my husband and I, could try to work to build greater acceptance for diversity in our community.

カールソン (通訳) この出来事は私にとってとても幸せなことで、うれしいことでありましたし、彼女を女性として知ることにとっても喜びを感じました。けれども、私にとっては全てが新しいこと、知らないことだらけでした。そこでピアサポートを求めたりして受け入れや寛容な理解を深めるためにどのようにしたらいいかという知識を求めました。

So, I looked for information. Of course, a lot of information is available online. In my case, because I read English and do not read Japanese very well, I found information on overseas websites such as this website, The Trevor Project. This is a really good resource.

カールソン (通訳) 私は情報を探しました。インターネット上でたくさんの情報を得ることができましたが、私は日本語があまり読むことが得意

ではないので、英語での情報を探したところ、海外の多くの情報をインターネットから得ることができました。

This organization, The Trevor Project, is the largest organization in the world devoted to suicide prevention for transgender youth.

カールソン (通訳) この The Trevor Project という団体は世界で最大規模の団体で、トランスジェンダーの人たちの自殺を予防するための団体です。

I am sure all of you understand and read English very well, but if you don't, if you copy the URL and put it into Google Translate, then it changes everything to Japanese.

カールソン (通訳) 皆さん英語を読まれる方も多いと思いますけれども、もし英語が得意でない方がいらっしゃいましたら、このホームページをコピーして Google で翻訳をすると日本語で情報を得ることができます。

I also found a lot of information from this organization, Gender Spectrum, which has a great deal of information for families and young people who are transgender. I also found a lot of support online. I am sure Japan also has online email and web-based forums for support. Because I can't read Japanese, I didn't access those.

カールソン (通訳) この団体からトランスジェンダーのある家族や若い人たちのジェンダースペクトラムについて多くの情報を得ることもできます。もちろん、私が日本語を読まないために、日本における日本語での情報をあまり把握はしていませんが、もちろん日本の情報もインターネット等で得られるはずです。

This website on this slide is for an email group, a parent support group, and the main language is English. But there are people all over the world,

including Japan, who send email and ask questions and provide resources and information.

カールソン (通訳) こちらの支援団体はEメールでのやりとりによる支援を行っている団体です。世界中のさまざまな言語での支援を行っています。英語がメインですが、日本語での支援、日本語でのEメールのやりとりも行われています。

Also, there is a very small English language Facebook group here in Japan. It has only 12 members. But when we need support, we support each other. If you send me an email, I am happy to tell you how to ask about joining this group.

カールソン (通訳) また、日本には非常に小さな英語のFacebookグループがあります。メンバーは12人のみです。しかし、サポートが必要な場合、お互いをサポートします。私にメールを送ってくださったら、このグループへの参加方法をお教えします。

Probably the place that so far has been the most helpful to me is this organization here, Friends and Family of LGBT. Some of you may know about this organization. It has chapters in Kobe, Fukuoka, Nagoya and Tokyo. And the Nagoya group is very active. They meet once every two months and provide all kinds of support for people in the LGBTQ+ community and family, allies, and friends.

カールソン (通訳) そして、中でも最も素晴らしい皆さんの情報を提供しているのが、このLGBTの家族と友人をつなぐ会です。この会は神戸、福岡、名古屋、東京で活動を行っていて、名古屋はかなり活動的にアクティブに活動を行っています。2カ月に1回集まって支援を行っています。

Recently, I've also discovered an amazing group, ASTA. Some of you may know of ASTA.

カールソン (通訳) そして、最近、私も知ったばかりですが、素晴らしい団体、ASTAという団

体があります。この中にASTAを知っている方はいらっしゃいますか。

ASTA was started three years ago by a university student and by a mother, Matsuoka-san, of a young gay man.

カールソン (通訳) ASTAは3年前にスタートした団体で、大学生とその母親、そして松岡さんが始めた団体です。

Unlike the other groups, ASTA is less about peer support and more about outreach and education in the community. So, two or three times a week, four people from ASTA work as a team, and they visit schools, they visit city halls, they visit hospitals, they visit companies, and they give workshops and presentations related to education about young people in the LGBTQ+ community.

カールソン (通訳) ASTAが他の団体と違うところは、ピアサポートとアウトリーチ、そして地域における教育に力を入れているところです。ASTAでは4人でひとつのチームで動いており、学校、市役所、病院や企業に出向いてワークショップを行ったりプレゼンテーションを行ったり、若いLGBTQ+の人たちについての教育を行っています。

I think ASTA has in total about 80 members, and when they go to give workshops and presentations, each group consists of a leader, a parent, and then a transgender individual, and a lesbian, gay, or bisexual individual.

カールソン (通訳) ASTAには約80人のメンバーがいますがけれども、ワークショップやプレゼンテーションを行うとき、このメンバーの中にリーダーや親、そしてトランスジェンダーの当事者が含まれています。

A group that's very close to ASTA because they have some of the same members, is this group, Nagoya

Aozora. Some of you may know of this group.

カールソン (通訳) そして、この ASTA のメンバーと何人か重なっていますが、名古屋青空グループもあります。もしかしたらこの中にもご存じの方がいるかもしれません。

Nagoya Aozora was started by a university student three years ago, and members include junior high school, high school and university students.

カールソン (通訳) この団体も 3 年前に大学生によって始められました。メンバーの中には中学生、高校生もいます。

And they meet, as I understand it, once a month or so and just enjoy being together.

カールソン (通訳) 私の理解では、この団体は 1 カ月に 1 回ミーティングを行って活動を行っています。

This is from the ASTA website. You can see it online.

カールソン (通訳) これは ASTA のホームページの情報です。皆さまもオンラインでこの情報が得られます。

You can see on this slide they are doing a workshop in a school. I think last week or a few weeks ago, they did a workshop in a local city over the weekend and spoke to a total of 500 junior high school students.

カールソン (通訳) この写真は学校でワークショップを行っているところです。ちょうど先週の週末、土岐市で 500 人の中学生に対してワークショップを行ったと聞いています。

And here is a photo of ASTA members giving a presentation.

カールソン (通訳) これが ASTA の人たちがプレゼンテーションを行っているときの写真です。

I think this photo is from the Coming-of-Age Day ceremony.

カールソン (通訳) この写真は成人式の写真です。

So, what do we need in schools?

カールソン (通訳) さて、学校で何が必要でしょうか。

Of course, in Japan, there are many guidelines regarding support for LGBTQ+ students. We can find guidelines on Waseda University's website, Nagoya University's website, Tsukuba University's website. We can find guidelines in government documents. These particular guidelines on this slide come from the Center for Disease Control and Prevention from United States.

カールソン (通訳) もちろん LGBTQ+ の生徒に関してさまざまなガイドラインがあります。早稲田大学のガイドライン、名古屋大学のガイドライン、筑波大学のガイドライン、そして政府のガイドライン、さまざまなガイドラインがあります。こちらのガイドラインはアメリカの疾病対策センターのガイドラインです。

One strategy that they suggest schools follow of course is to eliminate bullying.

カールソン (通訳) このうちの一つがいじめを禁止するということです。

But in fact, only 6% of American schools are following these guidelines.

カールソン (通訳) しかし、残念ながらこのガイドラインを守っている学校、このガイドラインに沿って行っている学校は、アメリカでも 6% しかありません。

When we think about how to implement guidelines, one thing that's important is to have visible signs, visible norms. For example, language - to show, for example, that joking is inappropriate - to show, some language is hurtful and inappropriate.

カールソン (通訳) 例えば、私たちがどのようにガイドラインを実際に取り入れて行動に起こすことができるかといいますと、そのうちの一つが言葉だと考えます。例えばジョーク、このことを笑いの対象にするということをしてはいけないということなのです。

Also having signs visible in the school that show you are welcome regardless of your religion, regardless of your ethnicity, regardless of your sexual orientation. To show that everyone is welcome.

カールソン (通訳) そして学校が、全ての人たち、多様な人たちを受け入れていることとということを目で見て分かるようにするというのです。例えばどのような宗教の人も、どのような民族、人種の人も、どのような性的アイデンティティを持っている人でも、学校は全ての人を受け入れるということを目で見て分かるようにするというのです。

Also, having visible signs in the school about respect for human rights.

カールソン (通訳) そして、もう一つ、人権について学校が目で見える状態で示すということなのです。

One of which is to have gender-neutral toilets available. Our daughter Umi did not go to the toilet at school in junior high school or high school, not even one time.

カールソン (通訳) そして、もう一つの良い例が、このような性別で分けられないトイレです。私の娘の海は、中学校、高校の時、学校のトイレに一度も行きませんでした。

This sign for a gender neutral toilet comes from Nagoya International School.

カールソン (通訳) これは名古屋国際学校、名古屋インターナショナルスクールのトイレのサインです。

The school has two gender-neutral toilets.

カールソン (通訳) この学校は、性別で分けられないトイレが2つあります。

Also, of course, school uniforms. A new junior high school, Kashiwanoha Junior High School, apparently has introduced a policy that students can choose the style of uniform. And, of course, I know this is happening elsewhere in Japan as well.

カールソン (通訳) この写真は、この中学校の制服、これは柏の葉中学校ですけれども、この中学校では制服を生徒が選べるということを始めました。そして、これはここだけではなくて他の学校でも始まっているというふうに聞いています。

Also, visible norms about LGBTQ role models.

カールソン (通訳) この写真のようにLGBTQのロールモデルをに見えるようにするというのです。

We need books in our libraries, not only books that are giving students information about gender diversity or sexual orientation, but also books that are about history, including people in the LGBTQ+ community.

カールソン (通訳) この写真は図書館に置かれている本ですが、この本は性の多様性に対して情報を提供するだけではなく、LGBTQ+の人たちの歴史についても提供しています。

And signs, such as posters that are celebrating LGBTQ+ related events.

カールソン (通訳) この写真はLGBTQ+に関連するイベントのサインです。

And role models.

カールソン (通訳) この写真はこれはLGBTQのロールモデルです。

The second strategy is related to safe spaces.

カールソン (通訳) そして、もう一つが安全、

安心できるスペースの提供です。

This is a photograph of one of the school counselors' offices at Nagoya International School.

カールソン(通訳) この写真は、名古屋国際学校、のカウンセラーの部屋の一つです。

And I'd like to also note that - for example, at Nagoya International School - some staff members are part of the LGBTQ+ community. That's also extremely important for students to see and know.

カールソン(通訳) そして名古屋国際学校のあ
る教員は、自分がゲイであることをオープンにし
ています。そしてこの事実が子どもたちにとっ
ても重要なことを意味していると考えます。

This is a photograph of an LGBTQ+ pride flag in a high school classroom at Nagoya International School.

カールソン(通訳) これは名古屋国際学校の高
校の教室にあるLGBTQ+のプライド旗の写真で
す。

And this is a safe space. Through the door, you find the gender-neutral toilet. And then you if you go straight through - this is the room that has the counselors' offices and it has spaces for students to come and talk and hang out and feel safe.

カールソン(通訳) この写真は、安心、安全な
スペースです。このドアを開けるとここに性で分
けないトイレがまずあり、そこをまっすぐに進む
とカウンセラーの部屋があります。そしてその奥
には子どもたちが安心して過ごせるスペースがあ
ります。そこでお話をしたりリラックスしたりと
いうことができます。

The third strategy is having visible signs showing allies.

カールソン(通訳) 三つ目は、仲間であることを
目で見えるサインにすることです。

This is a photo from just a few days ago at the Mie Pride Festival.

カールソン(通訳) この写真は三重でのプライ
ドフェスティバルの様子です。数日前に行われま
した。

And this photo is showing junior high school or maybe high school students from Takada High School in Mie. They are very active and the name of their group is Future of Transgender.

カールソン(通訳) そしてこの写真は、三重県
の高田高校の高校生を示しています。彼らは非常
に活発で、彼らのグループの名前はトランスジェ
ンダーの未来です。

That group is actually very strong. They've made a wonderful documentary about a young transgender man, and they are very active and doing fantastic things.

カールソン(通訳) この団体は素晴らしいドキュ
メンタリーを作りました。一人の男性、ゲイの人
のドキュメンタリーも作っています。

This photograph shows an LGBTQ+ pride event which was organized by junior high school students.

カールソン(通訳) この写真は、中学生が主催
したLGBTQ+プライドイベントを示しています。

What else is important? We need an online easily accessible database in various languages, in Chinese, and in Portuguese, and of course in Japanese, and English, and so on.

カールソン(通訳) 他に何が重要ですか? さ
まざまな言語、中国語、ポルトガル語、そして
もちろん日本語、英語などのオンラインで簡単にア
クセスできるデータベースが必要です。

Kanda-san and I are now working on this project together. And if you are interested...

カールソン(通訳) 私と神田さんは一緒にこの

プロジェクトを進めています。

...we welcome help. Please join us.

カールソン (通訳) 皆さん、ぜひ興味、関心のある方、一緒にやりませんか。

And just one more thing. Once a year, Kanda-san and I collaborate, and with the very, very, very generous and kind support of this university, we put on a small conference, and the conference is related to mental health support, empowerment for disability, autism, and LGBTQ+ related topics, among others.

カールソン (通訳) そして、私たちは年に1回、この愛知県立大学の支援をいただいて、このようなイベントを行っています。それは多様な人たちを対象にしたものです。メンタルヘルスだったり弱者だったり LGBTQ+ だったり、さまざまな困難を抱えている人たちを対象にしたイベントです。

We do this in Japanese, English and Portuguese.

カールソン (通訳) このイベントは多言語で行っており、英語と日本語とポルトガル語で開催しております。

We have not yet set the date for 2020, but if you are interested in joining us or presenting or helping us, we warmly welcome you.

カールソン (通訳) そして、2020年、日程がまだ設定されてはいないのですが、もし一緒に活動したいですか、自分のことを発表したい、支援したい、一緒にやりたいという方がいましたらぜひ一緒に声を掛けてください。一緒にやりましょう。

Thank you to all of you and a very huge, huge thank you to Sumire-san. I think Sumire-san must be very tired.

カールソン (通訳) 本日はありがとうございます。すみれさん、通訳をありがとうございます。

た。すみれさんはお疲れのことと思います。

Male Questioner

To start, Andrea Carlson, thank you very much. In your speech - I have got one question. When your daughter said she is a girl, you said, at that time you were happy, so happy. But I thought - at that time, were you surprised or confused? How did you accept her being transgender?

C—(通訳) アンドレア・カールソンさんに質問ですけれども、娘さんが娘だというふうに言ったとき、ハッピーだったというふうにおっしゃいましたが、そのときびっくりしたり混乱したりしませんでしたか。どのように受け入れられましたか。

Andrea Carlson

Thank you for your wonderful question. I wasn't surprised. Our daughter studies art in graduate school and she is very creative. She had been giving hints through her art. So, I wasn't surprised. I was kind of expecting it. And I was happy because I know she can be happy. And, it's only gender. I don't care if my children are male or female or non-binary. It's only gender. I think, for me, my only job as a parent is to support my children. So, I wasn't surprised.

But I did have concerns. For example, as a transgender woman, our daughter will always have to have hormone injections or hormone tablets every day for the rest of her life. There may be some side effects. I worried about that. And I worried because she lives in the United States and I worried about her safety. In fact, she has been attacked twice. She has been a victim of hate speech written on her car. She's had her car damaged. She has a friend who was murdered. So, I have worries about society but I don't have worries about my daughter being transgender at all.

I want to just tell you, my husband's mother is 86 years old - so, four years ago, when Umi came out, I

didn't know what my husband's mother would say, but her response to Umi was, "Oh, I am so happy. I am so happy for you, and I am so proud of you, and I am looking forward to knowing you as a woman. And I am so sorry that you had to be alone with your worries for so long and I couldn't help you."

カールソン (通訳) 素晴らしい質問をありがとうございました。私はびっくりしませんでした。娘の海が大学院に進学することになっていましたけれども、彼女が制作しているアートの中でたくさんのヒントを出していましたので、びっくりはしませんでした。彼女が男性であるか女性であるかということは私にとっては重要ではありません。ただの性です。性別というのはそんなに重要なことでしょうか。ただの性です。私は彼女の親であり、彼女をサポートすること、支援することが役割だというふうに考えています。

ただ、私が心配しているのは、彼女がホルモンの注入、タブレットを投薬していますので、それによる副作用がないかどうかということ、そして彼女は今アメリカに住んでいますので、安全面での心配をしています。といいますのは、彼女はこ

れまでに2回危害を加えられています。そして、ヘイトスピーチの被害にも遭っています。車を壊されたこともあります。そして、彼女の友人の中には殺されてしまった人もいます。私が心配しているのは彼女の性別のことではなくて、この社会のことなのです。

そして、もう一つ申し上げたいのが、私の夫の母が今現在86歳ですけれども、4年前に娘の海がカミングアウトしたときに、「ソーハッピー、とてもうれしい、とても良かった」と言いました。そして「あなたのことを誇りに思っている、そしてこれからあなたのことを女性として知ることを楽しみにしている」と言いました。そして「これまであなたが一人ぼっちで孤独で過ごしてきたことが残念だった、心配だったけれども、私は今のあなたを誇りに思っているし、女性としてこれから知っていくことを楽しみにしている」と言いました。

Male Questioner

Thank you for your comments.

C—(通訳) コメントありがとうございました。